

疑問文の意味と構造

—選言形式との関係から間接疑問文の意味と構造を考える—

金水 敏

大阪大学大学院文学研究科／国立国語研究所

2014年6月21日

国立国語研究所プロジェクト「日本語疑問文の通時的・対照言語学的研究」研究会

於 国立国語研究所

1. 導入

- なぜ現代日本語（共通語）では、肯否疑問文の間接疑問文に「どうか」が付かないと安定しないのか。「??田中がきたか*（どうか）が分からない」cf. 佐賀方言（日高 2014b）
「ケンがパーティに出席すっこっちゃいどがんこっちゃい { ϕ /ば} 覚えとらん」
- この問題を、「間接疑問文は選言形式（～か～か）とまったく同一の形式である」という点から説明することを試みる。
cf. 佐賀方言「こいこっちゃいあいこっちゃい」（これかあれか）（日高 同前）

2. 間接疑問文と選言（～か～か）の同型性

2.1 選言のヴァリエーション

- (1) * 田中かを呼んできて
- (2) * 田中か呼んできて
- (3) 田中か誰か（を）呼んできて
- (4) 田中か山田か（を）呼んできて
- (5) 田中か田中以外か（を）呼んできて ※結果的にあまり意味がない
- (6) 誰か（を）呼んできて

2.2 間接疑問文のヴァリエーション

- (7)a. *?田中が来たかを教えて
b. * 田中が来たかによってこちらの出方が違ってくる。
- (8) ??田中が来たか教えて ※なぜ少しよくなるかは後ほど
- (9) 田中が来たかどうか（を）教えて
- (10) 田中が来たか山田が来たか（を）教えて
- (11) 田中が来たか来なかったか（を）教えて
- (12) 誰が来たか（を）教えて

3. 間接疑問文と選言（～か～か）は付加成分でもある

cf. 「不定的同格要素」江口（1998） ※「換言」「照応」の関係

- (13) 田中か誰か、{学生／そいつらの少なくとも一人} を呼んできて
- (14) 田中か山田か、{学生／そいつらの少なくとも一人} を呼んできて
- (15) 田中か田中以外か、{学生／そいつらの少なくとも一人} を呼んできて
- (16) 誰か、{学生／（そいつらの）少なくとも一人} を呼んできて
- (17) 田中が来たかどうか、{出席状況／答え} を教えて
- (18) 田中が来たか山田が来たか、{出席状況／答え} を教えて
- (19) 田中が来たか来なかったか、{出席状況／答え} を教えて
- (20) 誰が来たか、{出席状況／答え} を教えて

4. 「AかBか」と「AかB」は構造・範疇が異なる

- (21) 田中か山田を呼んできて
- (22) ? 田中か山田呼んできて ※方言や口頭表現でなく
- (23) ?*田中か山田、学生を呼んできて
- (24) * 田中か誰（を）呼んできて

cf.

- (25) * 田中が来たか山田が来たを教えて

- 「AかB」は範疇N。

5. 間接疑問文と選言（～か～か）は、選択可能な対象のリストである

- 意味論的な条件として、リストは「総記的」exhaustive でなければならない。

*田中か

*田中が来たか

(1)(2) がすこしよく見えるのは、「田中が来たか」が別のタイプの挿入句として解釈できないこともないから。

cf. 田中が来た（の）か、大声でしゃべっている男の声とする。

- 疑問詞＝変項が1個リストに入っていれば、リストを generate できるので総記的と見なされる。
- リスト表現は、文中で付加語として裸で置くことができる。
- 「～と～と」「～も～も」「～やら～やら」「～なり～なり」「～とか～とか」も同様のリスト表現として振る舞う。

連言タイプ

- (26) {田中と山田と／*田中と}、両人を連れてきて

(27) {田中も山田も/*田中も}、全員を連れて来て

例示タイプ

(28) {田中やら山田やら/*田中やら}、野次馬を追い払って

(29) {田中なり山田なり/*田中なり}、暇そうなやつを連れてこい

(30) {田中とか山田とか/*田中とか}、暇そうなやつがいるだろう

cf. To be or not to be, that is the question.

6. 付加語のリスト表現と間接疑問文は空代名詞を介して区別がつけにくい

(31) 田中が来たかどうか、{それを/*pro*/φ} 教えて

7. 仮の提案：格助詞付きのリスト表現の構造

- 格助詞はリスト表現に直接着いているのではなく、名詞性の空操作子 **Op** に着いている。

(32) [田中か山田か **Op**]_{NP}-を呼んできて

(33) [田中が来たか山田が来たか **Op**]_{NP}-を教えて

- ここで **Op** は、リスト表現を名詞的な意味に整える働きをする。

8. 格助詞付き間接疑問文は形式に制約がある

(34) * [田中が来たかどうかどうだろうか]が分からない

(35) * [田中が来ましたかどうかですか]が分かりません

(36) * [誰が来たかどうか]が分からない

(37) * [誰が来ましたか]が分かりません

- 格助詞がなければ容認可能→付加語なら ok

(38) 田中が来たかどうかどうだろうか、(それが) 分からない

(39) 田中が来ましたかどうかですか、(それが) 分かりません

(40) 誰が来たかどうか、(それが) 分からない

(41) 誰が来ましたか、(それが) 分かりません

- 格助詞付き間接疑問文で使用可能な、「普通体」「*だろう*」を含まない「真偽不定な命題のリストを「間接疑問形式」と呼び、そうでないものを「非間接疑問形式」と呼ぶことにする。

- 間接疑問形式に格助詞、副助詞、係助詞が付いて、間接疑問文を項として選択する述語に係っていくものを「1型間接疑問文」、助詞無しでその他は同じ条件のものを「2型間接疑問文」と呼ぶことにする。2型は、1型から助詞が脱落したものか、あるいは付加語なのか、見分けが付かない。

(42) 田中が来たかどうか分からない (1型)

(43) 誰が来たかが分からない (1型)

(44) 田中が来たかどうか分からない (2型)

(45) 誰が来たか分からない (2型)

9. 間接疑問文からの疑問詞の取り出しの容認可能性について

(46) いったい、田中は[誰が来たかどうか]を知りたがっているの? (1型)

- 私の判断では、(46) は疑問詞疑問文として容認可能である (だめな人もいる)。
- 完全な付加語にすると、容認不可能である。

(47) * いったい、田中は[誰が来たかどうか]、それを知りたがっているの?

- 1型と2型で比べると、2型が若干落ちるといふ語感がある。

(48) ? いったい、田中は[誰が来たかどうか]知りたがっているの? (2型)

- 語順を変えると、もっと落ちる。

(49) * いったい[誰が来たかどうか]、田中は知りたがっているの?

- 非間接疑問形式では全くだめ。

(50) * いったい[誰が来ただろうかどうか]、田中は知りたがっているの?

(51) * いったい[誰が来ましたかどうか]、田中は知りたがっているのですか?

- 1型なら、語順を変えても容認性は落ちない。

(52) いったい[誰が来たかどうか]を田中は知りたがっているの?

- しかし次のタイプでは私は疑問詞の取り出しは容認しにくい (出来る人がいるそう)。

(53) ?* いったい、田中は[誰が来たか]を知りたがっているの? (答え: 山田です)

- (2) が問題ない人はたぶん (53) が OK なのだろう。
- 項でない裸のリスト表現から疑問詞が取り出せないのは、リスト表現は主題位置またはその辺りの周縁的な位置にあるからと説明できる (項・付加詞の非対称性ではない)。

10. 結論

1. 選言「～か～か」と間接疑問文は、構成素が名詞か文かの違いだけで、まったく同型の選択可能な要素のリスト表現である。
2. リスト表現は「総記性」を備えていなければならない。
3. リスト表現は裸で付加語になれる。また格助詞等を伴って述語の補充成分 (項) になれる。
4. 可能な命題のリスト表現が述語の補充成分 (項) となっているものを間接疑問文と呼ぶ。
5. 格助詞等が付いている間接疑問文を 1 型、付いていない裸のものを 2 型と呼ぶ。但し、2 型は形の上からは付加語のリスト表現と見分けが付かない。
6. 間接疑問文からは疑問詞の取り出し (主節との呼応) が可能であるが、付加語では不可能である。

補説 1：日本語の文の階層構造

呼びかけ 主題 主語 (目的語) 動詞 (否定) 時制 ムード1 ムード2 ムード3
[ねえ [[昼飯は [田中さんが [[弁当を買ってこ]なかつ]た] でしょう] か] ね]

※下線部は普通体と丁寧体の対立がある。

cf. ノダ文

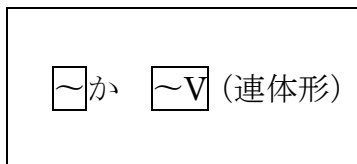
……動詞 (否定) 時制 「の」 「である」 (否定2) 時制2 ムード1 ムード2 ムード3
……買ってこ なかつ た の では なかつ た でしょう か ね

- いわゆる疑問の標識「か」は、ムード 2 (言語行為) の位置に入るが、「疑問文」の意味と機能は命題 (意味) レベルからムード、コミュニケーション・レベルに亙る広範な文法現象である。
- 「か」の意味は“(少なくとも一つ) 選べ” (外池 2014)
- 命題レベル: 「真偽不定」(極性)、“世界”(命題) の多重化
- モダリティ・レベル: 真偽不定・多重世界の主体による認識、解決への欲求
- コミュニケーション・レベル: 言語行為の多様性
質問・反語・詠嘆/命令・依頼・勧誘

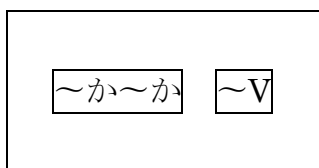
補説 2：衣畑の仮説について

- 日本語史では、疑問の係り結びが衰退した後、疑問の助詞による選言、間接疑問、不定 (不定表現) が現れた。
- 琉球語宮古諸方言を調べたところ、疑問の助詞 *ga* による係り結びがある南部諸方言では、*ga* による不定構文は見られず、*ga* による係り結びがない北部諸方言では、*ga* による不定構文が見られた。
- 上のような、係り結びによる不定構文の抑制は、係り結びを主文をスコープに取る構文であると分析することにより説明できる。(衣畑 2014:217)

係り結び (古代・中央方言)



間接疑問文・選言・不定表現 (現代・中央方言)



参考文献

- 伊藤さとみ (2014) 「選択疑問文の分析—英語、中国語、日本語の比較から—」『日本語学会 2014 年春季大会要旨集』 432-437 頁、日本語学会.
- 岩田美穂 (2014) 「例示並列形式としてのトカの史的変遷」益岡隆志他 (編)『日本語複文構文の研究』ひつじ書房
- 岩田美穂・衣畑智秀 (2011) 「ヤラにおける例示用法の成立」『日本語文法』 22-2: 60-76, 日本語文法学会.
- 江口 正 (1998) 「日本語の間接疑問説の文法的位置づけについて—不定的同格要素として—」『九大言語学研究室報告』 19:5-24、九州大学言語学研究室.
- 衣畑智秀 (2014) 「係り結びがもたらす疑問助詞の分布制約—日本語史と琉球語から—」『日本語学会 2014 年春季大会要旨集』 212-217 頁、日本語学会.
- 衣畑智秀・岩田美穂 (2010) 「名詞位置のカの歴史—選言・不定用法を中心に—」『日本語の研究』 6-4: 1-15、日本語学会.
- 高宮幸乃 (2004) 「ヤラ (ウ) による間接疑問文の成立—不定詞疑問を中心に—」『三重大学日本語学文学』 15: 111-124.
- 高宮 幸乃 (2003) 「現代日本語の間接疑問文とその周辺」『三重大学日本語学文学』 14: 104-116.
- 外池滋生 (2014) 「疑問文と「か」と「も」」『日本語疑問文の通時的・対照言語学的研究』 第 3 回研究発表会資料、国立国語研究所
- 日高俊夫 (2014a) 「佐賀方言における疑問標識「こっちゃい」に関する覚え書き」金水 敏 (編)『「日本語疑問文の通時的・対照言語学的研究」研究報告書 (1)』 pp. 79-92、国立国語研究所.
- 日高俊夫 (2014b) 「間接疑問文と「補文性」—佐賀方言の疑問標識を例に—」『日本語学会 2014 年春季大会要旨集』 356-361 頁、日本語学会.
- Kinuhata, Tomohide, Miho Iwata, Tadashi Eguchi, and Satoshi Kinsui (2009) “Genesis of ‘Exemplification’ in Japanese,” Yukinori Takubo et. al (eds.) *Japanese/Korean Linguistics, Vol. 16*, pp. 87-101, Stanford: CSLI.
- Kinsui, Satoshi (2007) “The Interaction between Argument and Non-argument in the Diachronic Syntax of Japanese,” *Current Issues in the History and Structure of Japanese*, pp. 253-261, Kurosio Publishers.
- Tomioka, Satoshi (2014) “Japanese Embedded Questions are Nominal: Evidence from Quantificational Variability Effect,” Manuscript, University of Delaware.